

資料2

令和7年度第2回

逗子市地域公共交通活性化協議会

2025 年(令和7年)10月 30日

逗子市市民アンケート調査結果報告書

【速報版】

令和7年 10 月

1. 令和5年度住民自治協議会アンケートについて

1) 実施の経緯

逗子市では、地域住民の高齢化や交通弱者の増加に対応するため、新たな地域交通手段の導入の検討を行っていた。具体化に向けて、地域住民が抱える課題やニーズを把握するため、令和5年度に、各住民自治協議会を通じて住民の意向調査を実施した。

2) 実施方法

調査項目及び実施方法は、各住民自治協議会に一任し、各自治会・管理組合を通じてアンケート調査票の配布・回収を行った。そのため、地区ごとに調査方法や設問内容は異なる。各地区の調査方法・回収結果は以下のとおり。

▼ 各住民自治協議会の調査方法・回収数

地区	調査方法	回収数
沼間	住民自治協議会加盟自治会へ調査票を配布。	129 件 (参加団体:14 自治会)
池子	住民自治協議会加盟自治会を通じて、調査票を全戸配布。	810 件 (参加団体:14 自治会、 約 2,020 世帯)
久木	久木連合町内会(久木 1～7・9 丁目)、ハイランド(久木 8 丁目)、山の根の代表者へ調査票を配布。	12 件 (自治会代表者 2 件、 意見書 10 件)
小坪	アンケートは実施せず(住民自治協議会有志メンバーによる意見交換会の会議録を受領)	—

●●小中学校区住民自治協議会

新たな地域交通の導入に関する意向調査

逗子市では、暮らしに必要な移動手段となる新たな地域交通の導入に向け、2024 年(令和 6 年)度中に実証実験を行うための検討を進めています。
そこで各自治会自治協議会をとおして、皆様への意向調査の協力依頼を受けました。
下記の項目についてのご意向を是非、教えてください。

1. 貴団体名()
記入者名()

2. お住まいの地域に新たな地域交通の導入が必要だと思いますか？
A. 導入が必要 B. 特に必要ない

以下、2 で導入が必要とお答えいただいた方のみ、ご記入願います。

3. 行き先として、希望する場所はどちらですか？
A. 五股のバス停 B. 逗子駅 C. 東逗子駅 D. 和賀寺駅
E. その他()

4. お住まいの地域の状況を教えてください。
A. 坂の上 B. バス停まで遠い C. 主道路より奥
D. その他()

5. 実証実験の実施を希望しますか？
A. 希望する B. 希望しない

6. どのような目的で利用したいですか？(例:買い物、通学、通勤、通院、散歩など)
:
:

7. 必要と思われるルートを教えてください。
(できましたら、地図等に朱書きでルートを描いてください)

池子小中学校区住民自治協議会の皆さまへ (金沢町)

2023 年 8 月 池子住民協議 会長 日高知博

新たな地域交通手段の導入に関する意向調査

池子住民協議はかねてから、当地区から東逗子駅に通じるバス路線の新設を願ってきました。今年度は逗子市と各地域の交通関係者等と協議するため、それぞれの住民の移動手段に対する意識調査を始めました。その中から実現可能な計画について、来年度に東逗子駅を希望する計画を進めています。池子住民協議は通勤距離の短い「当地区から東逗子駅ルート」の早期実証実験を希望するにあたり、皆様の意見を計画に反映させるべくアンケートを行います。皆様のご意見をお聞かせ下さい。

アンケートの記入にあたって

・逗子市は、3 年後に現在点検している老朽化した市の施設を、東逗子駅に集約する複合施設の新設計画を進めています。施設の機能は現在の自治会コミュニティセンター、図書館分館、福祉会館(社会福祉協議会)、子育て支援センター、東部包括支援センター、等が移転する計画です。また逗子市では既存のコミュニティバス等の調査もしています。

・これまで池子住民協議も近隣のバスに乗車乗客を交わしたことがありますが、神武寺トンネルから東逗子駅までの距離が狭く、運行は難しいと言われてきました。

・アーデンヒルでは自治会がオンデマンドタクシーと共同で実証実験をしましたが利用者が少なく、費用が掛かり過ぎ、自治会運営では難しく、中止になりました。

アンケート(〇印を付けて下さい)

1) 年齢 ①20 代 ②30 代 ③40 代 ④50 代 ⑤60 代 ⑥70 代以上
(ご家族の状況で、複数回答可)

2) お住まいは池子何丁目ですか？ ①1 丁目 ②2 丁目 ③3 丁目 ④4 丁目

3) 自治会・管理組合はどちらですか？ ①東逗子第一、②東逗子第二、③アザリ工第一、④アザリ工第二、⑤アザリ工第三、⑥アザリ工第五、⑦東逗子ハイパス、⑧ライオンズマンション、⑨ライオンズグローバル、⑩ロータリーハウス、⑪他地区

4) 東逗子へ行く目的はどれですか？(複数回答可)
①公共施設等利用、②買い物、③通学、④通勤、⑤東逗子駅へのアクセス、⑥その他

5) 地域交通の希望する運行時間帯(希望する時間帯に〇印を付けて下さい)
①18:00～19:00 ②19:00～20:00 ③20:00～21:00 ④21:00～22:00 ⑤22:00～23:00
⑥その他(希望する時間帯:)

6) 東逗子駅までの交通手段、運行システム、などの地域交通に関するご提案があればご記入下さい。アイデアのレベルでも結構です。

7) 「池子住民協議地区から東逗子駅路線新設プロジェクト」を設立する計画で、メンバー募集をします。ご協力いただけるでしょうか？(後日チラシにて募集致します)

①プロジェクトメンバーに参加する、②案内に協力する、③協力できない。

アンケート用紙の配布と回収は各自治会・管理組合へお願いしています。9 月 17 日までにご提出ください。

▲ 沼間・久木地区で配布した調査票

▲ 池子地区で配布した調査票

3) 調査結果(概要)

各地区の調査結果(概要)を以下に示す。

▼ 各住民自治協議会の調査結果(主な意見)

地区	区分	主な意見
沼間	地区の状況	・坂の上に住む方が多い。
	希望の行先	・東逗子駅、逗子駅を希望する世帯が大半を占める。 ・その他、ヨークマート、福祉会館等の意見あり。
	移動目的	・買い物、通院の目的が主。
	実証実験	・実施を希望する世帯が 9 割弱を占める。 ・希望ルートは、以下の 3 通りが挙げられる。 ➢ 逗子アーデンヒル&南台住宅 ⇄ 東逗子駅 ➢ 駅裏(沼間 2、4 丁目)巡回 ⇄ 東逗子駅 ➢ 逗子グリーンヒル&興人東逗子巡回 ⇄ 沼間坂上バス停
	その他	・団地入口までバスが来てもらえると助かる。 ・田浦行などのバスが減便となり不便になっている。 ・コミュニティを循環するバスがあるとよい。
池子	地区の状況	・道幅の狭さや坂道が地域の課題となっている。
	移動目的	・買い物、東逗子駅への移動、通院の目的が主。
	その他	・東逗子駅へのアクセスを強化してほしい。 ・ミニバスのルート・料金を見直してほしい。 ・1時間ごとの運行本数があると良い。 ・休憩できるスペースがほしい。 ・電動キックボード ・アザリエ循環バスを東逗子駅も通るようにしてほしい。 ・ヨークマート送迎用のバスがあるとよい。 ・東逗子駅でタクシーが常に待機してほしい。 ・自家用車有償運送旅客運送(公共交通空白地有償運送)、ライドシェア ・シェア自転車、タクシーチケット ・神武寺トンネル～東逗子駅間の道路を拡幅してほしい。 ・Uber タクシーの導入 ・コミュニティバス(ミニバス、ワンボックスカー)の定時運行
	地区の状況	・スーパーまでの道のりが長く、坂の上に位置する。
久木	希望の行先	・西友ハイランド店から利用者の自宅までを巡回する交通がほしい。
	その他	・“トゥクトゥク”のような客席付の三輪自動車や超小型 EV 車を導入し、地域のボランティアが送迎する仕組みがあるとよい。 ・近くの拠点に医療や販売の拠点が定期的に来てもらえるとよい。 ・金沢踏切の改修(歩道拡幅、右左折の角度の改善、エレベーター設置) ・自動配送ロボット(宅配、荷物を載せて団地内を巡回) ・超低速の電動三輪車の導入
	地区の状況	・南ヶ丘では逗子市内よりも鎌倉側に移動する人が多い。
小坪	その他	・実証実験を実施する前に、具体的なプラン(仮説や目的)を市が示してほしい。 ・地域の企業や店舗との連携・協力の可能性を検討できるとよい。

2. 調査概要

令和 5 年度住民自治協議会アンケートでは、地区別の移動需要や新たな地域交通の導入に対する意向について、地域住民の生の声を確認することができた。

今回新たに実施した調査は、令和 5 年度の調査結果を受け、全市統一の内容で調査票の設計を行ったものであり、以下の点を目的として実施した。

- ✓ 現在の移動の実態や潜在需要(隠れたニーズ)、需要の顕在化を阻害している要因を可視化し、市として強化すべき取組みを検討する。
- ✓ 今後の具体的な施策事業(例えば、新たな移動手段の導入や既存公共交通のサービス内容の見直し)を行う際の裏付けを得る。

▼ 調査概要

対象者	逗子市民(※無作為抽出した 3,000 人)
調査方法	郵送配布・郵送回収
回答期間	令和 7 年 9 月 19 日(金)～10 月 6 日(月)
回収票数	1,137 票 (回収率 37.9%)
調査内容	<ul style="list-style-type: none">・属性(年代、性別、居住地区、家族構成、運転免許の有無、歩行許容距離、歩行支障の状況)・日常生活を送る上での移動実態(目的・目的地、訪問頻度、理想の訪問頻度、交通手段、交通渋滞の実態、理想の目的地)・同居家族の移動実態(目的・目的地、訪問頻度、理想の訪問頻度、交通手段、交通渋滞の実態、理想の目的地)・同居家族の年代・運転免許の有無・送迎実態(目的、送迎頻度、送迎先、送迎時の車の運転、送迎の負担)・地域公共交通(鉄道・路線バス・タクシー)の利用実態(利用頻度、主な行き先、満足度、利用の際に感じる良い点・悪い点)・地域公共交通(鉄道・路線バス・タクシー)に対するニーズ
備考	<ul style="list-style-type: none">・対象者は高校生以上(令和 7 年度に 16 歳以上となる世代)の市民とし、中学生以下の子どもの移動実態については、親の調査票の中で可能な限り確認した。・年代別で必要サンプルを確保するため、地区間のバランスに留意しながら、傾斜配分の上、対象者を抽出した。

【参考】アンケート調査票

返子市 地域公共交通に関するアンケート調査									
1. 普段の移動について									
※番号を選択するものは、「複数回答可」の記載のあるものを除き、1つだけ選択してください。									
1-1 ご自身の移動についてお伺いします。									
目的	目的地を教えてください。 各項目で複数箇所ある場合は、最もよく訪れる場所を記入ください。該当するものでない場合は（普段の目的で日常的に移動しない場合は、空欄のままでください。）	現在の訪問の頻度を教えてください。 ① 週に5回以上 ② 週に3～4回 ③ 週に1～2回 ④ 月に1～2回 ⑤ 年に数回以下	理想の訪問の頻度を教えてください。 ① 週に5回以上 ② 週に3～4回 ③ 週に1～2回 ④ 月に1～2回 ⑤ 年に数回以下	利用交通手段を教えてください。（複数回答可） ① 徒歩 ② 自転車・バイク（通勤） ③ 自転車・バイク（送迎） ④ 自動車（通勤） ⑤ 自動車（送迎） ⑥ 路線バス ⑦ 鉄道 ⑧ タクシー ⑨ 施設送迎サービス（高齢者センターの備付バスを含む） ⑩ その他	訪問時の交通渋滞の実態について教えてください。 ① ほぼ毎回渋滞している ② ときどき渋滞している ③ 渋滞していることは少ない	移動が便利になればもっと行きたい場所があれば教えてください。			
記入例 （買物目的の場合）	スーパーA店	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③	スーパーB店			
通勤・通学	住所（町・丁目まで）	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③				
買物	店名（○○スーパー××店等）	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③	店名（○○スーパー××店等）			
通院・通所	施設名（○○クリニック等）	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③	施設名（○○クリニック等）			
娯楽・趣味	施設名（○○センター等）	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③	施設名（○○センター等）			
1-2 同居のご家族の移動についてお伺いします。同居のご家族が複数いらっしゃる場合は、特に移動に困っている方（子どもや高齢者など、運転が難しい方）についてお答えください。一人暮らしの方は問2に移ってください。									
目的	目的地を教えてください。 該当するものがない場合は空欄	現在の訪問の頻度を教えてください。 ① 週に5回以上 ② 週に3～4回 ③ 週に1～2回 ④ 月に1～2回 ⑤ 年に数回以下	理想の訪問の頻度を教えてください。 ① 週に5回以上 ② 週に3～4回 ③ 週に1～2回 ④ 月に1～2回 ⑤ 年に数回以下	利用交通手段を教えてください。（複数回答可） ① 徒歩 ② 自転車・バイク（通勤） ③ 自転車・バイク（送迎） ④ 自動車（通勤） ⑤ 自動車（送迎） ⑥ 路線バス ⑦ 鉄道 ⑧ タクシー ⑨ 施設送迎サービス（高齢者センターの備付バスを含む） ⑩ その他	訪問時の交通渋滞の実態について教えてください。 ① ほぼ毎回渋滞している ② ときどき渋滞している ③ 渋滞していることは少ない	移動が便利になればもっと行きたい場所があれば教えてください。			
通勤・通学 ・通園	住所（町・丁目まで）	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③				
買物	店名（○○スーパー××店等）	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③	店名（○○スーパー××店等）			
通院・通所	施設名（○○クリニック等）	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③	施設名（○○クリニック等）			
娯楽・趣味	施設名（○○センター等）	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③	施設名（○○センター等）			
1-3 問1-2でご回答いただいた同居のご家族の方の年代・運転免許の有無を教えてください。									
年代	① 20歳未満 ② 20歳台 ③ 30歳台 ④ 40歳台 ⑤ 50歳台 ⑥ 60～64歳 ⑦ 65歳～69歳 ⑧ 70歳～74歳 ⑨ 75歳～79歳 ⑩ 80歳以上								
免許の有無	① 免許を持っており日常的に車を運転する ② 免許を持っていないが運転することは少ない／ない ③ 免許を返納した ④ 免許を持っていない								

2. 送迎について

2-1. 普段、ご家族や知人の「通勤・通学・通園」「買物」「通院・通所」「習い事等」のためにあなたが行っている送迎について、実態をそれぞれお答えください。

目的	送迎頻度	送迎先	送迎時の車の運転	送迎の負担
	① 週に3回以上 ② 週に1～2回 ③ 月に1～2回 ④ 年に数回以下 ⑤ 送迎していない	① 逗子市内 ② 葉山町 ③ 鎌倉市 ④ 横須賀市 ⑤ その他 ※送迎頻度が⑤送迎していない場合は回答不要	① 運転する ② 運転しない ※送迎頻度が⑤送迎していない場合は回答不要	① 大きい ② やや大きい ③ どちらでもない ④ やや小さい ⑤ 小さい ※送迎頻度が⑤送迎していない場合は回答不要
通勤・通学・通園	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③ ④ ⑤	① ②	① ② ③ ④ ⑤
買物	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③ ④ ⑤	① ②	① ② ③ ④ ⑤
通院・通所	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③ ④ ⑤	① ②	① ② ③ ④ ⑤
習い事等	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③ ④ ⑤	① ②	① ② ③ ④ ⑤

3. 逗子市の地域公共交通について

3-1. あなたの普段の地域公共交通（鉄道・路線バス・タクシー）のご利用の実態についてそれぞれお答えください。

交通手段	利用頻度	主な行き先	満足度
	① 週に3回以上 ② 週に1～2回 ③ 月に1～2回 ④ 年に数回以下 ⑤ 全く利用しない	具体的な行き先について、主なものをご記入ください。 ※利用頻度が⑤全く利用しない場合は回答不要	① 満足 ② やや満足 ③ どちらでもない ④ やや不満 ⑤ 不満
鉄道	① ② ③ ④ ⑤		① ② ③ ④ ⑤
路線バス	① ② ③ ④ ⑤		① ② ③ ④ ⑤
タクシー	① ② ③ ④ ⑤		① ② ③ ④ ⑤

交通手段	利用の際に感じる良い点（複数回答可）	利用の際に感じる悪い点（複数回答可）
	① 自分で運転しなくてよい ② 駅や停留所までが近い ③ 利用したいときに利用できる、便数が多い ④ 目的地まで早く到着できる ⑤ 交通機関同士の接続が良い ⑥ 到着時刻が読みやすい ⑦ 運賃が安い ⑧ 安全に移動できる ⑨ その他 ⑩ 特になし	① 駅や停留所までの高低差が大きい ② 利用したいときに利用できない、便数が少ない ③ 目的地到着まで時間がかる ④ 交通機関同士の接続が悪い ⑤ 到着時刻が読みにくい ⑥ 運賃が高い ⑦ 満員で座れない、疲れてしまう ⑧ その他 ⑨ 特になし
鉄道	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
路線バス	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
タクシー	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

3-2. 市内の鉄道・路線バス・タクシーがどのように変われば、あなたは地域公共交通の利用を増やそうと思いますか。

2枚目	市内の鉄道・路線バス・タクシーそれぞれで上位3つまで回答可
	① 行き先案内の充実 ② 発車時刻や運賃情報等の案内の充実 ③ 時刻表通りの運行（定時性の確保） ④ 運行便数・台数の拡充 ⑤ 早期・深夜の運行 ⑥ 乗車場所の拡充 ⑦ 目的地へ乗り換えなしで行ける運行ルートの設定 ⑧ バリアフリー化の推進 ⑨ 待ち時間の改善（ベンチ・屋根の設置等） ⑩ 車内の快適さ（清潔、座れる等） ⑪ 乗り換えの利便性向上 ⑫ 運賃の値下げ ⑬ その他
鉄道	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
路線バス	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
タクシー	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

4. あなた自身について

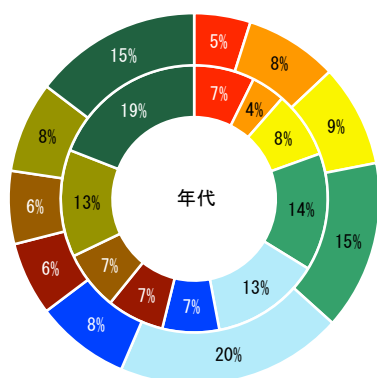
4-1	年代を教えてください。
① 20歳未満 ② 20歳～29歳 ③ 30歳～39歳 ④ 40歳～49歳 ⑤ 50歳～59歳 ⑥ 60歳～69歳 ⑦ 70歳～79歳 ⑧ 80歳以上	
4-2	性別を教えてください。
① 男性 ② 女性 ③ 答えたくない	
4-3	住所を教えてください。（町名・丁目それぞれ1つだけ）
町名 ① 逗子 ② 桜山 ③ 沼間 ④ 池子 ⑤ 山の根 ⑥ 久木 ⑦ 小坪 ⑧ 新宿	
丁目 ① 1丁目 ② 2丁目 ③ 3丁目 ④ 4丁目 ⑤ 5丁目 ⑥ 6丁目 ⑦ 7丁目 ⑧ 8丁目 ⑨ 9丁目	

4-4	同居しているご家族の構成を教えてください。（複数回答可）
① ひどく暮らし ② 配偶者・パートナー ③ 子ども(小学生以上) ④ 兄弟姉妹 ⑤ その他	
4-5	運転免許の有無について教えてください。
① 免許を持っており日常的に車を運転する ② 免許を持っていないが運転することは少ない/ない ③ 免許を返納した ④ 免許を持っていない	
4-6	普段、目的地までのどのくらいの距離であれば歩いて移動していますか。
① 1km以上 ② 200～300m程度 ③ 300～500m程度 ④ 500～1000m程度 ⑤ 1000m以上	
4-7	普段の歩行時の状況について教えてください。
① 坂や階段、長距離移動が難しい ② 車いすを利用している ③ 杖や手押しカートを使っている ④ ベビーカーを使っている ⑤ 特に支障は感じない ⑥ その他 ⑦ 最長、ご意見、ご提案などございましたら、以下の欄内にお書きください。（書ききれない場合は別紙でも可）	

3. 調査結果(速報)

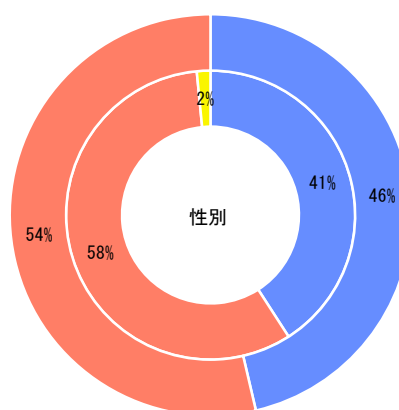
1) 回答者属性

- ・ 回答者の年代は、**75 歳以上の割合が 3 割**と最も高く、その他の世代は満遍なく回答が得られている。20 歳台の回答が 4%とやや少ない。
- ・ 回答者の性別は、**女性:男性=6:4**となっている。
- ・ 回答者の居住地区は、**桜山、沼間、久木、小坪**が特に多いが、その他の地区も比較的偏りなく回答が得られている。



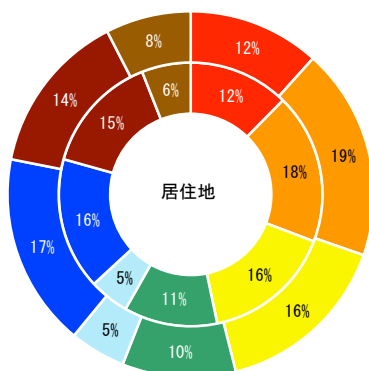
■ 20歳未満 ■ 20歳台 ■ 30歳台 ■ 40歳台 ■ 50歳台
 ■ 60～64歳 ■ 65～69歳 ■ 70～74歳 ■ 75～79歳 ■ 80歳以上

▲ 年代



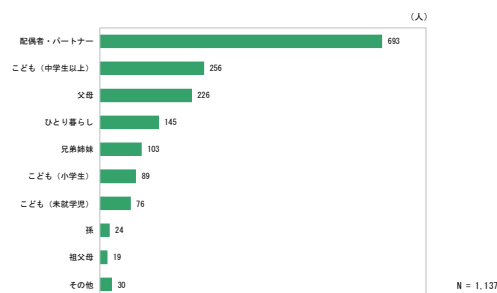
■ 男性 ■ 女性 ■ 答えたくない

▲ 性別



■ 逗子 ■ 桜山 ■ 沼間 ■ 池子 ■ 山の根 ■ 久木 ■ 小坪 ■ 新宿
 ■ ひとり暮らし ■ 兄弟姉妹

▲ 居住地区

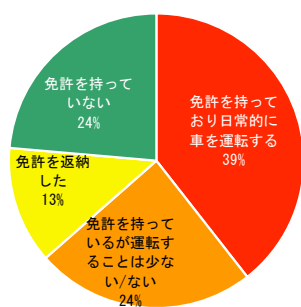


N = 1,137

▲ 同居家族構成(複数回答可)

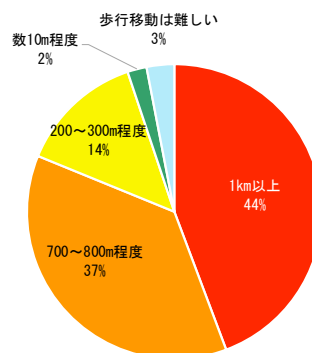
※円グラフ外側:住民基本台帳(令和 7 年 7 月 31 日時点)に基づく居住人口データ
 内側:アンケート回答者(年代:N=1,118、性別:N=1,114、居住地区:N=1,101)

- ・ 運転免許の有無については、免許保有者が全体の 6 割を占めるものの、自動車を運転しないか、免許を持っていない方の割合も全体の 6 割となっている。
- ・ 歩行許容距離は、700～800m以上が全体の 8 割を占める。
- ・ 歩行支障の状況は、“特に支障を感じない”方が回答者全体の **75%**を占めるが、“坂や階段、長距離移動が難しい”という方も **15%**と一定数みられる。



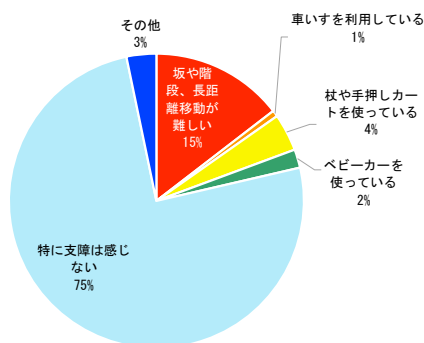
N = 1,113

▲ 運転免許の有無



N = 1,084

▲ 歩行許容距離 ※



N = 1,044

▲ 歩行支障の状況

※歩行許容距離: 普段、目的地まで歩いて移動する距離

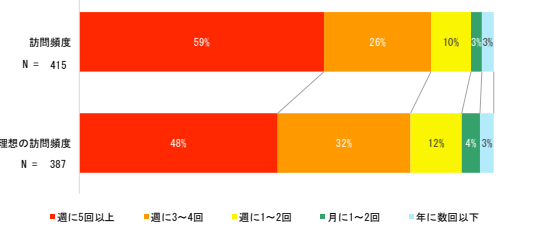
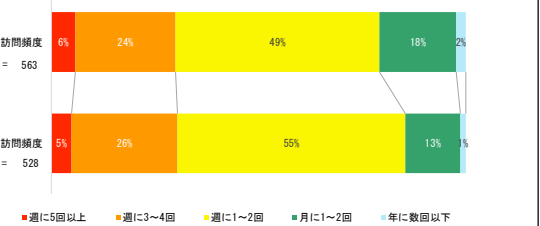
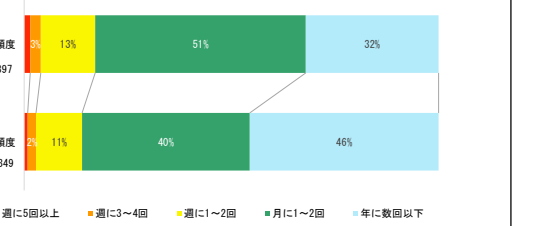
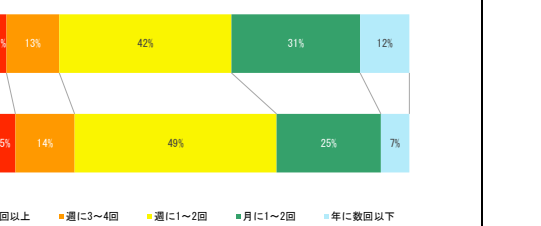
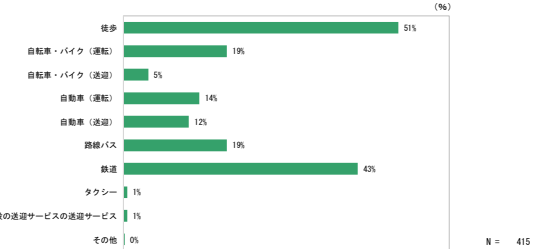
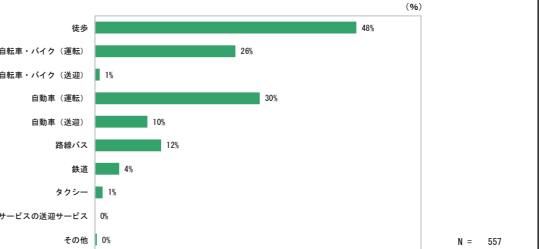
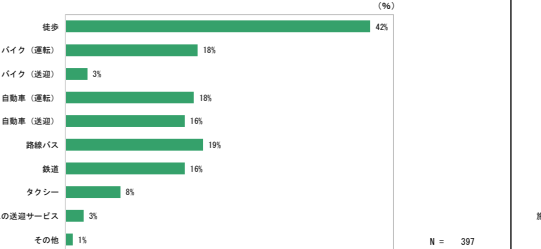
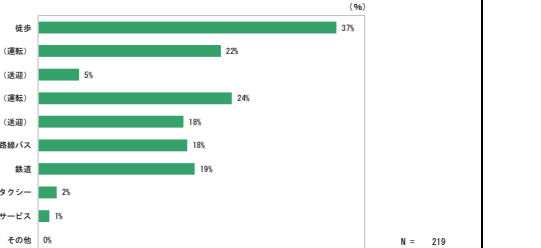
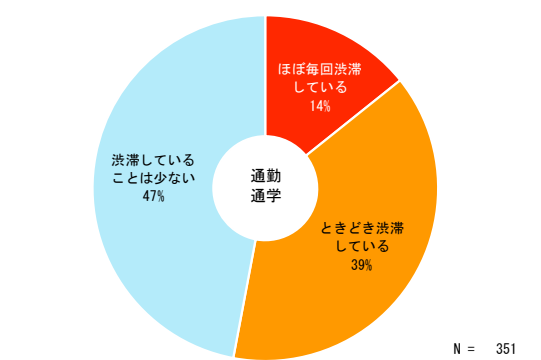
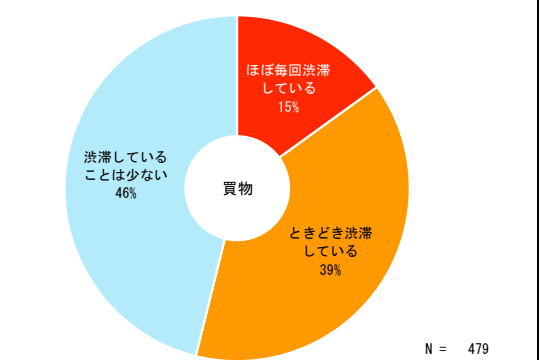
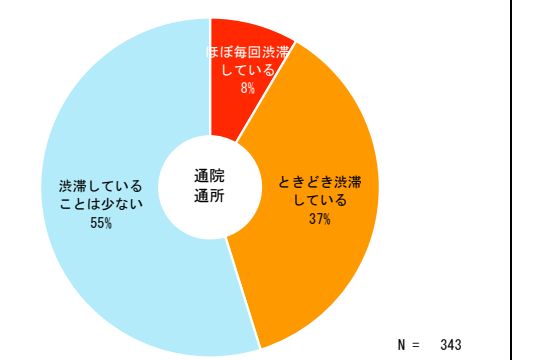
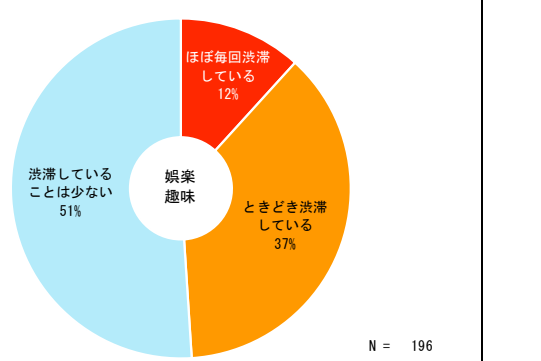
2) 日常生活を送る上での移動実態

- ・ 訪問頻度については、通勤・通学や通院・通所目的では現状(通勤・通学:週 5 回以上が半数、通院・通所:週に 1～2 回が半数)より頻度を減らしたい意向があり、買物や趣味・娯楽目的では現状(買物:週 1～2 回が半数、趣味・娯楽:月 1～2 回が 4 割)より頻度を若干増やしたい意向があることが窺える。
- ・ 利用交通手段については、鉄道は通勤・通学目的での利用が他の目的に比べて高く、回答者の半数を占める。路線バスはいずれの目的でも 2 割前後と一定の利用がある。その他、自転車・バイク(運転)もいずれの目的でも 2 割以上の利用がある。自動車(運転)は買物や趣味・娯楽目的で 3 割程度と比較的利用が多い。
- ・ 交通渋滞の実態については、通勤・通学や買物目的での移動時はときどき渋滞している、ほぼ毎回渋滞していると回答するケースを合わせて 6 割弱となっている。通院・通所や趣味・娯楽目的では渋滞していることは少ないケースが過半数を占める。

項目	【自身】通勤・通学の移動実態	【自身】買物の移動実態	【自身】通院・通所の移動実態	【自身】趣味・娯楽の移動実態
訪問頻度				
利用交通手段 (複数回答可)				
訪問時の交通渋滞の実態				

3) 同居家族※の移動実態

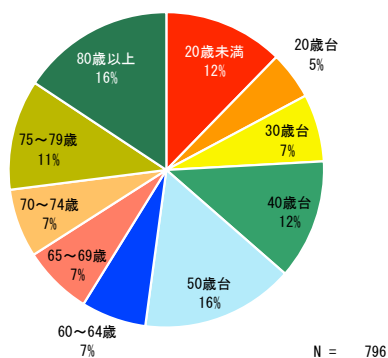
- ・訪問頻度については、自身の移動と同様、通勤・通学や通院・通所目的で現状(通勤・通学:週 5 回以上が 6 割、通院・通所:月に 1～2 回が半数)より頻度を減らしたい意向があり、買物や趣味・娯楽目的では現状(買物:週 1～2 回が過半数、趣味・娯楽:週 1～2 回が 4 割)より頻度を若干増やしたい意向があることが窺える。
- ・利用交通手段については、鉄道は通勤・通学目的での利用が他の目的に比べて高く、回答者の 4 割を占める。路線バスはいずれの目的でも 1～2 割程度となっている。なお、本設問は特に移動に困っている同居家族について確認しているため、自動車(送迎)は、いずれの目的も自身の移動の場合よりも割合が高い。
- ・交通渋滞の実態については、通勤・通学や買物目的での移動時はときどき渋滞している、ほぼ毎回渋滞していると回答するケースを合わせて過半数となっている。通院・通所や趣味・娯楽目的では渋滞していることは少ないケースが過半数を占める。

項目	【同居家族】通勤・通学の移動実態	【同居家族】買物の移動実態	【同居家族】通院・通所の移動実態	【同居家族】趣味・娯楽の移動実態
訪問頻度				
利用交通手段 (複数回答可)				
訪問時の交通渋滞の実態				

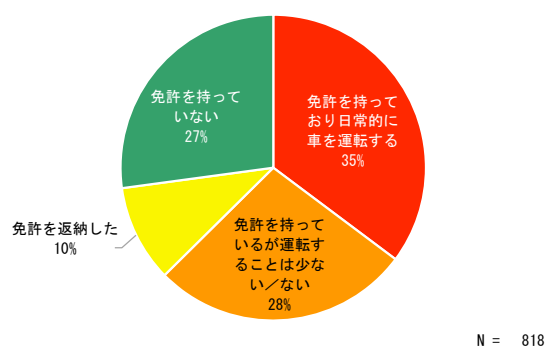
※同居家族:同居家族が複数人いる場合は、特に移動に困っている方(子どもや高齢者など、運転が難しい方)について確認した。

4) 同居家族の年代・運転免許の有無

- ・ 3)で回答した同居家族の年代は、80歳以上や50歳台の割合が高い。20歳未満についても、回答者属性(8%)に比べ高くなっている。
- ・ 同居家族の運転免許の有無については、回答者属性と同様の傾向であり、免許保有者が全体の6割を占めるものの、自動車を運転しないか、免許を持っていない方の割合も全体の6割となっている。



▲ 前問で回答した同居家族の年代



▲ 前問で回答した同居家族の
運転免許の有無

5) 送迎実態

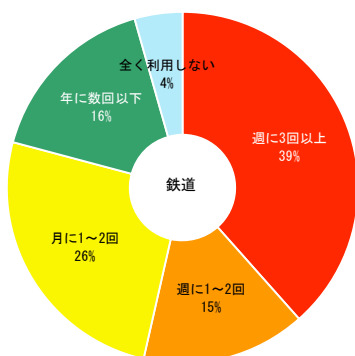
- ・送迎頻度は、通勤・通学・通園や買物、習い事等が週に 1～2 回以上である割合が高い。いずれの目的も送迎先は市内が最多であるが、買物は横須賀市内も多い。いずれの目的でも、送迎時は運転するとの回答が 7 割以上を占めている。
- ・通院・通所目的の送迎は、頻度は少ない一方で、送迎負担は他の目的に比べて大きい。送迎頻度の多い通勤・通学・通園や習い事等も“やや大きい”以上の回答が 4 割を占めている。

項目	通勤・通学・通園の送迎実態	買物の送迎実態	通院・通所の送迎実態	習い事等の送迎実態
送迎頻度	<div><div><div>送迎していない 66%</div><div>週に3回以上 14%</div><div>週に1～2回 7%</div><div>月に1～2回 8%</div><div>年に数回以下 5%</div></div><div>通勤 通学・通園</div><div>N = 631</div></div>	<div><div><div>送迎していない 63%</div><div>週に3回以上 5%</div><div>週に1～2回 19%</div><div>月に1～2回 10%</div><div>年に数回以下 3%</div></div><div>買物</div><div>N = 676</div></div>	<div><div><div>送迎していない 65%</div><div>週に3回以上 2%</div><div>週に1～2回 5%</div><div>月に1～2回 15%</div><div>年に数回以下 13%</div></div><div>通院 通所</div><div>N = 653</div></div>	<div><div><div>送迎していない 75%</div><div>週に3回以上 5%</div><div>週に1～2回 11%</div><div>月に1～2回 6%</div><div>年に数回以下 3%</div></div><div>習い事等</div><div>N = 589</div></div>
送迎先	<div><div><div>延子市内 175</div><div>栗山町 4</div><div>鎌倉市 10</div><div>横須賀市 7</div><div>その他 14</div></div><div>(人)</div><div>N = 210</div></div>	<div><div><div>延子市内 132</div><div>栗山町 5</div><div>鎌倉市 9</div><div>横須賀市 39</div><div>その他 25</div></div><div>(人)</div><div>N = 210</div></div>	<div><div><div>延子市内 124</div><div>栗山町 11</div><div>鎌倉市 16</div><div>横須賀市 14</div><div>その他 36</div></div><div>(人)</div><div>N = 201</div></div>	<div><div><div>延子市内 103</div><div>栗山町 3</div><div>鎌倉市 14</div><div>横須賀市 7</div><div>その他 21</div></div><div>(人)</div><div>N = 148</div></div>
送迎時の 運転の 有無	<div><div><div>運転する 78%</div><div>運転しない 22%</div></div><div>通勤 通学・通園</div><div>N = 236</div></div>	<div><div><div>運転する 84%</div><div>運転しない 16%</div></div><div>買物</div><div>N = 254</div></div>	<div><div><div>運転する 76%</div><div>運転しない 24%</div></div><div>通院 通所</div><div>N = 224</div></div>	<div><div><div>運転する 72%</div><div>運転しない 28%</div></div><div>習い事等</div><div>N = 156</div></div>
送迎の 負担	<div><div><div>大きい 22%</div><div>やや大きい 19%</div><div>どちらでもない 36%</div><div>やや小さい 7%</div><div>小さい 16%</div></div><div>通勤 通学・通園</div><div>N = 226</div></div>	<div><div><div>大きい 13%</div><div>やや大きい 18%</div><div>どちらでもない 42%</div><div>やや小さい 5%</div><div>小さい 22%</div></div><div>買物</div><div>N = 245</div></div>	<div><div><div>大きい 20%</div><div>やや大きい 25%</div><div>どちらでもない 34%</div><div>やや小さい 3%</div><div>小さい 18%</div></div><div>通院 通所</div><div>N = 220</div></div>	<div><div><div>大きい 21%</div><div>やや大きい 24%</div><div>どちらでもない 35%</div><div>やや小さい 3%</div><div>小さい 17%</div></div><div>習い事等</div><div>N = 155</div></div>

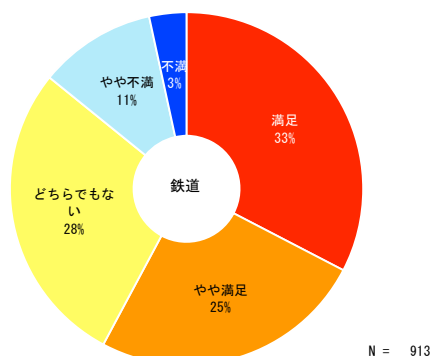
6) 地域公共交通(鉄道・路線バス・タクシー)の利用実態

(1) 利用頻度・満足度

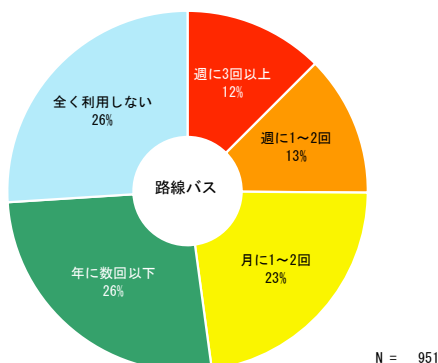
- ・ 鉄道は、普段利用する人(月に1回以上の回答者、以下同様)が8割と最多であり、中でも週に3回以上が4割弱を占め、満足度は満足寄りの回答が6割弱を占める。
- ・ 路線バスは、普段利用する人が5割弱を占め、満足度は不満寄りの回答が4割を占める。
- ・ タクシーは、普段利用する人は2割以下となっており、満足度は満足寄りの回答と不満寄りの回答が同程度となっている。



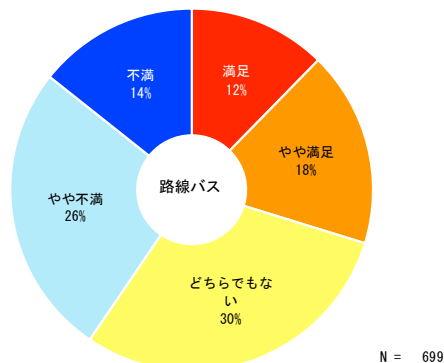
▲【鉄道】利用頻度



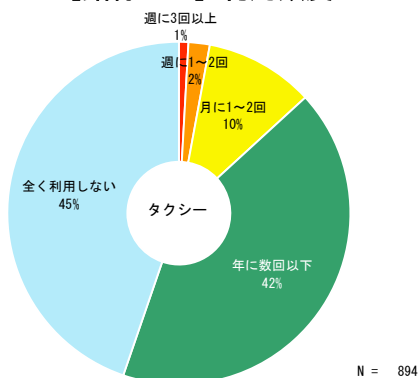
▲【鉄道】満足度



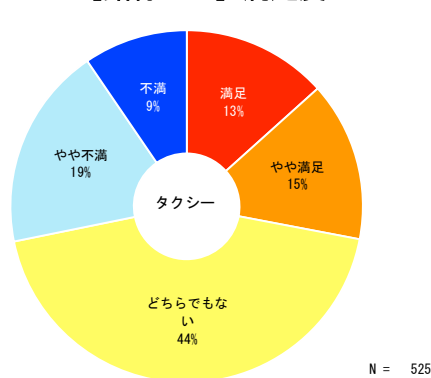
▲【路線バス】利用頻度



▲【路線バス】満足度



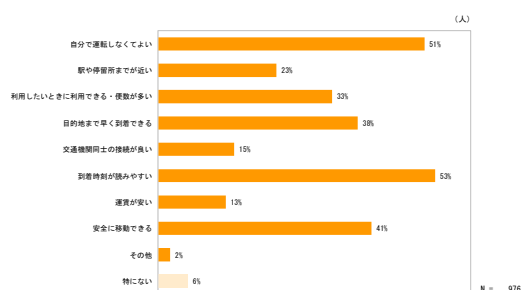
▲【タクシー】利用頻度



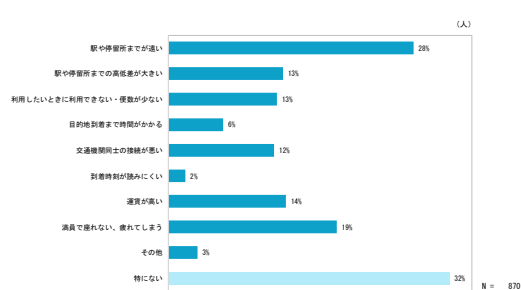
▲【タクシー】満足度

(2) 地域公共交通利用の際に感じる良い点・悪い点

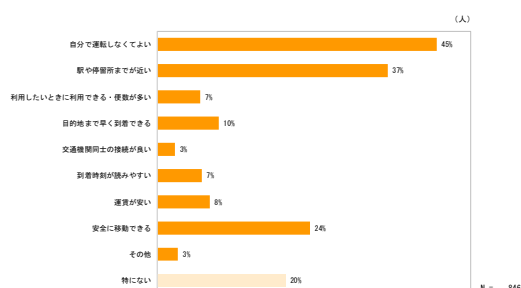
- ・ いずれの交通手段も“自分で運転しなくてよい”ことが良いという割合が高い。
- ・ 鉄道については、到着時刻の読みやすさ、速達性、利便性の高さ等が評価されている一方、駅や停留所までの遠さや満員で座れないことに対して不便を感じる割合が高い。
- ・ 路線バスについては、駅や停留所までの近さは一定評価されていると言えるが、便数の少なさや到着時刻の読みにくさ等に対して不便を感じる割合が高い。
- ・ タクシーについては、目的地まで早く到着できること等は評価されている一方で、運賃の高さや利用したい時に利用できないことに対して不便を感じる割合が高い。



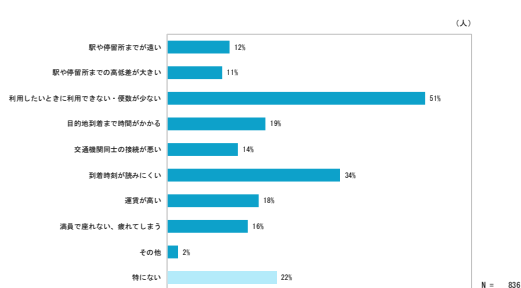
▲ 【鉄道】 良い点(複数回答可)



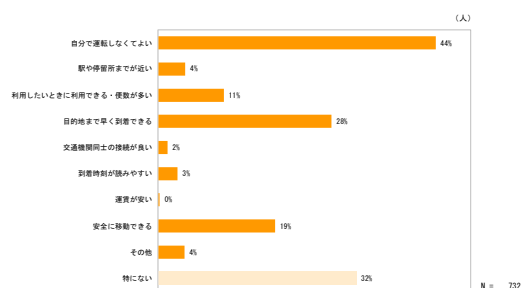
▲ 【鉄道】 悪い点(複数回答可)



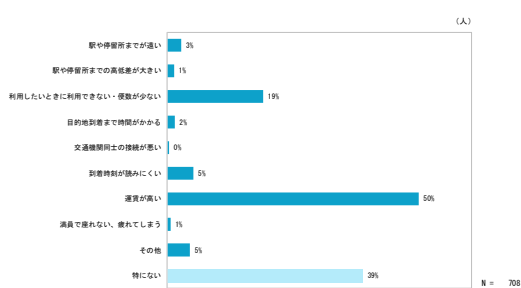
▲ 【路線バス】 良い点(複数回答可)



▲ 【路線バス】 悪い点(複数回答可)



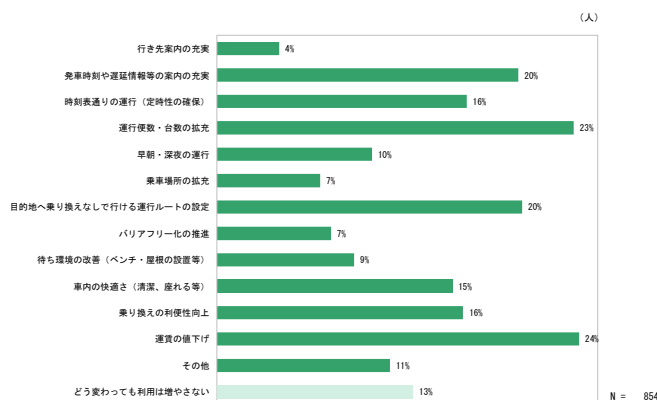
▲ 【タクシー】 良い点(複数回答可)



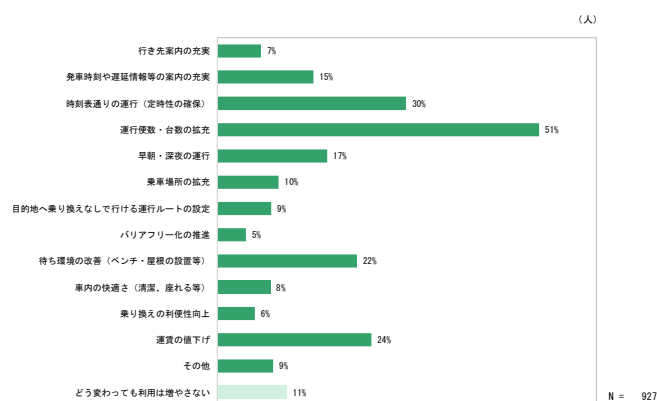
▲ 【タクシー】 悪い点(複数回答可)

7) 地域公共交通(鉄道・路線バス・タクシー)に対するニーズ

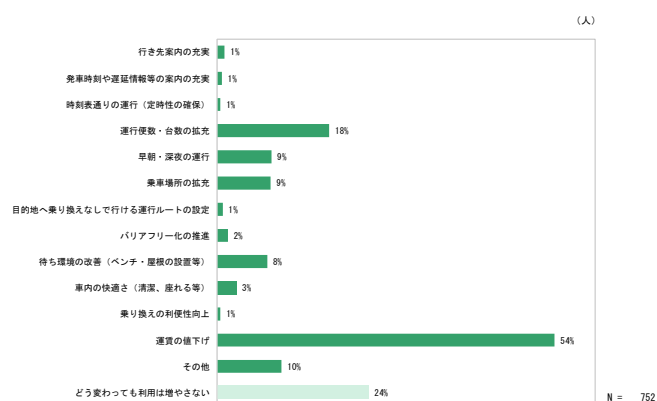
- ・ 鉄道に対するニーズは、運賃の値下げ、運行便数・台数の拡充の順に割合が高い。
- ・ 路線バスに対するニーズは、運行便数・台数の拡充、定時性の確保の割合が高い。
- ・ タクシーに対するニーズは、運賃の値下げが最多であり、過半数を占めている。



▲【鉄道】どのように変われば利用を増やすか(上位 3 つまで回答可)



▲【路線バス】どのように変われば利用を増やすか(上位 3 つまで回答可)



▲【タクシー】どのように変われば利用を増やすか(上位 3 つまで回答可)

【今後クロス集計・解析予定】

- ・（全体）その他欄を含む、自由記述の集計・考察
- ・（p7）歩行許容距離×年代、運転免許の有無
- ・（p7）歩行許容距離、歩行支障×利用交通手段（実質的なカバー圏に対するニーズ確認のため）
- ・（p8,9）主な目的地（自由記述）について、回答の多寡（OD）を図面上で可視化（ニーズの高い移動区間の把握のため）
- ・（p11）送迎頻度×年代、居住地区（送迎負荷が大きいターゲット層の把握のため）
- ・（p12）地域公共交通利用頻度×年代、居住地区
- ・（p12）地域公共交通利用満足度×年代、居住地区
- ・（p13）地域公共交通の良い点・悪い点×年代、居住地区
- ・（p14）地域公共交通に対するニーズ×年代、居住地区
- ・（p13-14）地域公共交通の良い点・悪い点、ニーズ×公共交通を普段利用しているか否か（真の利用者の意見か、使っていない人の意見かを判別）